

平成28年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

今年度は、前年度下半期から続く職員の休職や新たな体調不良者等による影響により、ユニット内の職員だけではご利用者の生活がまかなえないことが増え、他のユニットのマンパワーを自ユニットに取り入れる等、ユニットを越えた相互の支援体制についての検討を重ねてきた。慢性的な人材不足の中で、あるべきユニットの勤務体制については次年度も議論を継続し、ご利用者への個別ケアについても一定のサービス水準が維持できるように、各種マニュアルを整備していく計画となっている。また、夜勤業務については、既存の21時45分～7時45分の勤務に加え、明けで退勤したその日の夜に再び夜勤業務に入る形、また、16時～9時の2交代夜勤の形と、現状よりも24時間の休日回数が多く取ることができる仕組みも導入し、職員の体力やライフスタイルに合わせた働き方を選択することができ、プライベートの充実や疲労回復にも一定程度寄与しているのではないかと考えている。また、勤務表作成上のバリエーションが増え、急な勤務変更にも対応しやすくなったとも考えられる。

2 入退所状況

職員体制が長期間にわたって不安定となっている分、空床を埋めることがなかなかできなかったが、12月によりやく満床とすることができた。多くの入所申込者（年度末の時点で約130名）の期待に応えることができるように、今後も空床を作らないような体制作りを目指していきたいと考えている。年間の退去者数は、開設から17年の間で、過去4番目に少ない6名（昨年度13名）で、そのうち4名は施設内で看取らせていただいた。

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	2	0	9
退所者数	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	0	6
退所理由		死亡				死亡		死亡 転院					
月末在籍者数	48	48	48	49	49	48	49	49	50	48	50	50	
男性	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	
女性	41	41	41	42	42	41	42	42	43	41	42	42	

3 入所者状況

入居者の平均要介護度は3.90で、昨年度の3.77よりわずかに重度化している。平均入居期間は3年10ヶ月（昨年度3年7ヶ月）となっており、10年以上の入居者は5名と、ほぼ横ばいの状況である。面会状況は1,250件（昨年度1,180件）と増加している。また、制度改正によって、これまでには居住費と食費に補助を受けていた入居者のうち、遺族年金も収入要件に勘案されるようになったことで、自己負担額が増えた方が10名おられた。

(1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護Ⅰ	0	0	0	0%
要介護Ⅱ	0	1	1	2%
要介護Ⅲ	3	15	18	36%
要介護Ⅳ	4	12	16	32%
要介護Ⅴ	1	14	15	30%
合計	8	42	50	100%
平均要介護度	3.8	3.9	3.9	

(2) 面会状況

月別	延件数	1日平均
4月	102	3.4
5月	110	3.5
6月	98	3.3
7月	108	3.5
8月	112	3.6
9月	84	2.8
10月	100	3.2
11月	90	3.0
12月	117	3.8
1月	132	4.3
2月	73	2.6
3月	124	4.0
合計	1250	3.4

(3) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
-59	0	0	0
60-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-74	0	1	1
75-79	2	4	6
80-84	1	6	7
85-89	3	12	15
90-94	2	12	14
95-99	0	5	5
100-	0	2	2
合計	8	42	50
平均年齢	85.0	88.0	87.6
最高年齢	93	103	
最低年齢	75	72	

(4) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	7	39	46
伊根町	0	1	1
宮津市	1	1	2
その他	0	1	1
合計	8	42	50

(5) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	4	8%
5年以上～10年未満	5	10%
3年以上～5年未満	14	28%
1年以上～3年未満	17	34%
1年未満	10	20%
合計	50	100%

4 入所者の健康状況

入院期間の総日数は、今年度は228日と、昨年度が323日、一昨年度が339日であったことを考えると大幅に短縮されている。医務室を中心とした誤嚥性肺炎を予防する取り組みが徐々に成果を上げていることが考えられる。

(1) 利用者の診察状況

診察別	施設内診療所における診療	他の医療機関における診療		
		入院		通院
	実人員	実人員	延日数	延日数
内科系疾患	50	9	181	23
外科系疾患	0	0	0	6
精神科系疾患	0	0	0	25
婦人科系疾患	0	0	0	1
眼科系疾患	0	2	6	18
耳鼻科系疾患	0	0	0	0
皮膚科系疾患	0	1	33	8
泌尿器科系疾患	0	1	8	6
整形外科系疾患	0	0	0	9
歯科系疾患	12	0	0	1
合計	62	13	228	97

(2) 健康管理状況

内容	実施日(月)	利用者(特養)	利用者(ケア)	職員
血液検査	6・7	48	11	114
	12	0	0	42
尿検査	6・7	0	0	111
	12	0	0	43
心電図検査	6・7	48	11	102
	12	0	0	34
胸部レントゲン検査	6・7	48	11	113
	12	0	0	7
インフルエンザ予防接種	11	46	14	72
	12	3	0	42

(3) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	26	2.16
宮津市由良診療所	26	2.16

(4) 疾患別状況

項目	人数	項目	人数
脳血管障害	24	痔核症	1
認知症	33	便秘症	44
心疾患	21	気管支喘息	5
高血圧症	21	白内障	13
貧血	2	胃がん	3
糖尿病	6	胃潰瘍	0
骨粗しょう症	10	腎機能障害	5
逆流性食道炎	2	精神疾患	9
腸閉塞	3	後縦靭帯骨化症	0
褥創	2	皮膚疾患	18
肝炎	2	膝関節症	13
脳腫瘍	1	パーキンソン	9

(5) 年齢構成別荷重平均栄養価 (年間所要量・摂取量)

栄養項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均 摂取量	所要量	単位
エネルギー	1449	1447	1441	1439	1460	1479	1464	1458	1465	1456	1457	1457	1456	1566	k cal
たんぱく質	55.2	54.6	55.2	54.5	54.9	54.8	56.2	54.3	55.1	55.0	55.7	55.2	55.1	57.8	g
脂質	33.9	34.6	34.5	35.1	36.2	36.6	35.6	35.3	36.4	34.4	35.7	35.6	35.3	41.9	g
カルシウム	442	436	434	425	424	447	427	450	458	450	474	452	443	659	mg
鉄	7.8	7.5	7.7	7.4	7.3	7.4	7.4	7.6	8.1	7.6	7.9	7.8	7.6	6.2	mg
レチノール当量	751	524	986	796	710	495	1037	510	1186	562	567	765	741	678	μgRE
ビタミンB1	0.68	0.67	0.66	0.70	0.67	0.64	0.66	0.67	0.65	0.65	0.67	0.68	0.67	0.84	mg
ビタミンB2	0.84	0.80	0.88	0.85	0.84	0.80	0.86	0.81	0.93	0.82	0.83	0.86	0.84	0.94	mg
ビタミンC	64	76	74	86	80	74	83	77	84	77	81	79	78	81	mg
食塩	8.4	8.1	8.0	8.2	8.0	8.2	8.1	8.3	8.0	8.4	8.1	8.3	8.2	7.2	g
穀類エネルギー比	49.3	49.6	49.2	49.2	48.3	48.0	48.7	48.7	48.5	48.2	49.0	49.0	48.8	48.9	%
動物性たんぱく質比	46.6	46.2	48.4	48.3	46.0	45.5	48.5	45.5	46.4	46.3	46.2	47.0	46.7	47.5	%
脂質エネルギー比	21.1	21.4	21.4	21.9	22.3	22.2	21.8	21.7	22.3	21.2	22.0	22.0	21.8	21.7	%

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

5 サービス状況

職員体制が落ち着かない状況の中ではあったが、ご入居者がご家族の希望に沿ったお花見、外食、帰省、お見舞い等の外出を行うことができた。『虹の会』を中心とした流しそうめん、運動会、文化祭等のレクリエーションや、月に2回、喫茶を開き、コーヒーや専門店のお菓子でゆったりとした時間を過ごしていただくことができ、ユニットを越えた入居者同士の交流の場となった。中庭には四季折々の花が咲き、サービス向上のためのマナーチェック表の継続により、職員全体のレベルアップを意識している。また、水分不足を補うための飲料、オムツ類の使用方法、定期的に行っている喫茶の準備手順についても見直しを図り、サービスの質を下げることなく経費節減や業務の省力化も行った。

在宅福祉課にも看護職員が増員されたことを受けて、施設福祉課の看護職員の勤務体制も安定し、その分ご利用者の生活場面に目を向ける機会が増え、これまで以上に、介護職員や看護職員、栄養士との連携のあり方について、ご利用者の暮らしに焦点を当てた上で、相互の専門性や長所をいかした支援体制について、より質の高いものを目指して協議を重ねた。

今年度は3年に一回受診している第三者評価を受けるために、中間管理職以上で組織する自己評価委員会を設置し、サービスの標準化、あるいは可視化するプロセスを皆で経験し、サービスのあり方について見つめ直す良い機会となった。

(1) 行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/3	花見（鳴滝公園）	15	10/15	合同避難訓練	45
4/23	加悦谷祭り神楽屋台見学	30	10/18	与謝野町敬老会	5
4/27	喫茶	30	10/19	ふれあい（歌謡ほのぼの会）	25
5/11	喫茶	30	10/24	虹の会（運動会）	30
5/25	喫茶	30	11/11	喫茶	30
6/2	卓球バレー	23	11/22	西2ドライブ	10
6/4	西2カラオケ大会	16	11/28	虹の会（喫茶&お茶会）	30
6/6	喫茶	30	11/29	西2ドライブ食事レク	16
6/22	喫茶	30	12/6	喫茶	30
6/16	西2食事レク	16	12/16	加悦カトリック教会、セシリア	30
6/28	ふれあい（歌謡ほのぼの会）	20	12/20	クリスマス会（Aグループ）	25
7/13	喫茶	30	12/22	クリスマス会（Bグループ）	25
7/20	喫茶	30	12/23	ふれあい（辻阪先生ピアノ）	30
7/25	虹の会（流しそうめん）	25	12/28	餅つき大会	50
8/2	西2食事レク（カレー作り）	35	1/1	新年祝賀式	25
8/10	喫茶	30	1/2	初詣（後藤神社）	17
8/14	盆供養	14	1/11	喫茶	30
8/24	喫茶	30	1/25	喫茶	30
8/30	ふれあい（ウクレレサークルレファ）	25	2/3	食事レク節分	50
9/11	西3食事レク（お好み焼き）	12	2/9	ふれあい（ウクレレサークルレファ）	25
9/23	敬老祝賀式	40	3/8	喫茶	30
9/25	西2外出（お菓子の館）	30	3/22	喫茶	30
			3/23	ふれあい（歌謡ほのぼの会）	25

(2) クラブ活動

延べ人数

月	習字クラブ	朝の体操		
4月	8名	300名		
5月		300名		
6月	8名	300名		
7月	11名	300名		
8月	10名	300名		
9月		300名		
10月	11名	300名		
11月	12名	300名		
12月	10名	300名		
1月		300名		
2月		300名		
3月		300名		
合計	7	365	0	0

(3) ボランティア受入れ状況

受入月	グループ名	参加者数	内 容	受入月	グループ名	参加者数	内 容
4月	天理教	8	車椅子掃除	10月	天理教	8	車椅子掃除
	柴田・山崎	2	習字		柴田・山崎	2	習字
					歌謡ほのぼの会	6	歌
5月				11月	天理教	8	車椅子掃除
					柴田・山崎	2	習字
					こすもす会	10	掃除
					梅林寺	16	草取り
6月	天理教	8	車椅子掃除	12月	柴田・山崎	2	習字
	歌謡ほのぼの会	6	歌		辻阪先生	2	歌とピアノ
	つつじ会	10	窓ふき		加悦カトリック教会 セシリア会	10	歌と尺八
	柴田・山崎	2	習字		高校生ボラ	1	介護補助
					野木氏・谷口氏	2	歌とギター
7月	柴田・山崎	2	習字	1月			
	天理教	8	車椅子掃除				
8月	天理教	8	車椅子掃除	2月	天理教	8	車椅子掃除
	柴田・山崎	2	習字		ウクレレサークルレフア	9	ウクレレ
	ウクレレサークルレフア	9	ウクレレ				
9月				3月	歌謡ほのぼの会	6	歌
					天理教	8	車椅子

6 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	期間(日数)	実人数
6月	加悦中1年福祉体験学習	1	1
8月	京都暁星高等学校介護職員初任者研修実習	4	4
	大谷大学社会福祉士養成研修	2	1
9月	大谷大学社会福祉士養成研修	2	1
10月	清掃等業務実習	6	1
	江陽中1年福祉体験学習	1	4
11月	江陽中1年福祉体験学習	2	7
	福祉即戦力養成科実習	6	3
	京都府新規採用職員社会福祉施設体験実習	1	2
12月	福祉即戦力養成科実習	3	2

7 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4月	平成28年度新人研修①(オリエンテーション・総務・各部署の概要等)	施設長・各課長	3	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅰ)	神内PT	3	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	4	1
5月	平成28年度特養新人研修②(OFF-JI)	係長・主任	1	1
	平成28年度新人研修③(感染症・コミュニケーション)	課長補佐・主任	3	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	24	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅱ)	神内PT	2	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	9	1
6月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	29	1
	平成28年度新人研修④(認知症・災害対応)	課長・係長	2	1
	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	7	1
	リハビリ勉強会(ポジショニング方法 講義)	神内PT	10	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	5	1
	平成28年度 普通救命講習①	宮津与謝消防組合	3	1
	平成28年度新人研修⑤(安全管理・身体拘束)	主任	2	1
	リハビリ勉強会(ポジショニング方法 実技)	神内PT	10	1
8月	平成28年度新人研修⑥(褥瘡対策・記録の書き方)	課長・主任	3	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	3	1
	リハビリ勉強会(特養ケース検討)	神内PT	5	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	20	1
9月	平成28年度 普通救命講習②	宮津与謝消防組合	8	1

	平成28年度新人研修⑦（人事考課・医療行為）	施設長	3	1
	リハビリ勉強会（基本的介護技術Ⅲ）	神内PT	2	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会②	リスク委員会	23	1
10月	ストレスチェック説明会	武田里栄子氏	20	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	15	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」②	神内PT、ケアネット他	14	1
11月	平成28年度認知症TVセミナー第1回	丹後保健所・北部MC	6	1
	平成28年度ユニットIN北京都 全体研修会	ユニットイン北京都	7	1
	排泄勉強会	リブドウ日野氏	8	1
	リハビリ勉強会（摂食・嚥下について）	神内PT	8	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	6	1
12月	平成28年度認知症TVセミナー第2回	丹後保健所・北部MC	3	1
	特養新人研修（食事・排泄・入浴）	主任	5	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
	リハビリ勉強会（負担の少ない移乗方法について）	神内PT	6	1
1月	特養新人研修（認知症・ケアプラン）	課長・係長	3	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	4	1
2月	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	5	1
	リハビリ勉強会（シーティングの理解）	神内PT	5	1
	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	10	1
3月	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会②	リスク委員会	7	1
	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	10	1
	リハビリ勉強会（肩こり・腰痛を防ぐストレッチ体操について）	神内PT	6	1
	平成29年新入職員研修（法人）	与謝郡福祉会	5	3

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
ユニットin北京都ケアマネ部門	ユニットin北京都	1	1
介護保険集団指導	京都府	1	1
府老協第1回総会	府老協	1	1
高齢者・障害者施設職員等感染症予防対策基礎研修会	丹後保健所	2	1
障害福祉サービス事業者集団指導	京都府	1	1
平成28年度ユニットケア研修について	府老協	1	1
指定施設における不在者投票事務に関する説明会	京都府選挙管理委員会	1	1
高齢者の肺炎を予防しよう	丹後地域リハビリテーション	1	1
実習懇談会「実習における学びと育ち」	大谷大学	1	1
ユニットin食事部門意見交流（各施設で困っていることなど）	ユニットin北京都	1	1
調査研究委員会	府老協	1	1
第1回予算対策委員会	府施設協	1	1
認知症介護実践者研修	府老協	1	3
認知症介護実践者研修	府老協	1	3
第16回レジテンシャルケア研究会議	レジテンシャルケア研究会議	1	2
第2回調査研究委員会	府老協	1	1
平成28年度京都府認知症介護実践リーダー研修	京都府	1	3
食事ケアの実際と環境 摂食嚥下を考えるパート②	一般社団法人京都府介護福祉士会	1	1
京都府との情報交換会	府老協	1	1
ユニットケア施設研修 ユニットケアについて	府老協	2	1
平成28年度京都府認知症介護実践リーダー研修	京都府	1	3
安全運転管理者講習	京都府公安委員会	1	1
福祉即戦力人材養成科実習指導者向け研修会	京都府北部福祉人材確保事業事務局	1	1
認知症介護実践者研修	府老協	1	1
平成28年度京都府認知症介護実践リーダー研修	京都府	1	3
絆ネット支援事業研修会	与謝野町社協	1	1
きょうと福祉就活サポートプログラム合同事業所説明会	京都府福祉人材サポートセンター	1	1
ユニットin北京都 食事部門	ユニットin北京都	1	1
お気軽サミットin丹後	丹後保健所	1	1
平成28年度京都府認知症介護実践リーダー研修	京都府	1	1
高齢者入所施設と北部医療センター職員との連携会議	丹後保健所	1	1
平成28年度 京都府認知症介護実践者等研修	府老協	1	3
採用力向上研修	京都府	1	1
平成28年度 京都府認知症介護実践者等研修	府老協	1	3
平成28年度 地域福祉権利擁護事業情報交換会	与謝野町社会福祉協議会	1	1

要配慮者利用施設管理者向け説明会	京都府	1	1
平成28年度 ユニットケア研修ミドルマネジメント	府老協	1	3
ユニットin北京都ケアマネ部会	ユニットin北京都	1	1
府老協第3回調査研究委員会	府老協	1	1
気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー	気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会	2	2
平成28年度 京都府認知症介護実践者等研修	府老協	1	1
基金共済会合同事務説明会	(一財)京都府民間社会福祉施設職員共済会事務局	1	1

8 事故状況（受診となった事案）

事故報告の総件数は767件（前年度922件）で前年比のマイナス17%となった。一方ヒヤリハットについては311件（同308件）となりほぼ横ばいの状況である。事業所別では特養で起きた事故が551件を占めており（全体の71%）、ショートステイが108件（同14%）となっていることから、殆どの事故が特養・ショートステイで起きていることになる。事故の内容別に見ると、原因不明の怪我が最も報告が多く、次いで転倒・転落事故、薬関係の事故、介助中の事故と続きそれら4つの報告で全体の9割近い件数となっている。

受診に至った事故は全体で6件あり、そのほとんどが骨折を伴う大きな事故となった。経過を見る中で痛みが強くなり翌日受診された事例もあり、特に年度の前半に半数以上の受診に至った事故が報告されている。平成27年度については11件の受診に至った事故が報告されており、件数的には減少したが、重大な事故が繰り返し発生している現状には変わらず、事故が減少すべく取り組みを今後も続けていく必要がある。

全体として事故の件数が減少したことは一定評価できるが、受診を伴う事故や薬関係の事故など重大な事故、職員の不注意による事故も多数報告されており、この部分をいかに減らしていくかが来年度に向けての課題といえる。

項目	特養	ケア	ショート	デイ	小規模	合計
転倒及び転落	0	0	1	1	1	3
介助中の事故	1	0	0	0	0	1
誤嚥（誤飲）	0	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0	0
薬の誤配	0	0	0	0	0	0
入所者同士のトラブル	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0
自動車事故	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	0	0	2
合計	1	0	3	1	1	6

9 満足度アンケート

平成28年度苦情・要望アンケートの状況

回収率については前回よりも増加しているが、半数を超えるところまでには至っていない。要望については、「食事が冷めている」「味が薄い」「外出行事を増やしてほしい」「汚れたら着替えをさせてやってほしい」「もっと早く送迎にきてほしい」といったサービス内容に関するものや、「玄関が陰気臭い」「トイレが汚い」という環境整備に関するもの、その他には「利用料金の自己負担金が上がった」という制度に関する不満や、「個人情報が洩れている」という信用にかかわる問題についての意見もあった。繰り返しご指摘をいただいている内容もあり、人員体制がなかなか整わない状況でもあるが、多様化するニーズに対応できる体制づくりが継続した課題となっている。

配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率	昨年度回収率
特 養	47	30	63.8%	61.2%
ケアハウス	25	10	40.0%	23.8%
在宅サービス	150	63	42.0%	43.4%
居宅介護支援				
小規模多機能	20	8	40.0%	33.3%
不 明		2		
合 計	242	113	46.7%	45.3%

苦情解決の仕組みをご存知ですか

	はい	いいえ	詳しく知らない	無回答	合計
特 養	10	11	8	1	30
ケアハウス	5	3	1	1	10
在宅サービス	16	23	17	7	63
居宅介護支援					
小規模多機能	2	1	5	0	8
不 明	0	0	0	2	2
合 計	33	38	31	11	113
回答構成率	29.2%	33.6%	27.4%	9.7%	
昨年度構成率	35.5%	27.3%	29.1%	8.2%	

サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特 養	25	4	0	0	1	30
ケアハウス	9	1	0	0	0	10
在宅サービス	49	7	4	0	3	63
居宅介護支援						
小規模多機能	8	0	0	0	0	8
不 明	0	0	0	0	2	2
合 計	91	12	4	0	6	113
回答構成率	80.5%	10.6%	3.5%	0.0%	5.3%	
昨年度構成率	66.4%	26.4%	0.9%	0.0%	6.3%	

平成28年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

今年度は入居者は1名、退去者は2名で退去理由は経済的理由により養護老人ホームへの転居、もう一人は親族の近くのケアハウスへの転居であった。夫婦部屋にお一人で居住されている方がいるため、14名で満室が9か月続いた。入居者の生活状況では昨年度末から今年度初めにかけてケアハウス内でのインフルエンザの感染が見られたが、定期的な体調観察と早めの対応を心がけ、重症化する入居者もなく終息した。単調になりがちな施設内での生活の中で趣味や活動の機会として、体操やトランプ、手芸などや、施設内での食事会や外食の機会を設けているが、外食に行かれるご利用者が極端に少なくなった。これは入居者同士の関係性と、徐々に体調不良の入居者が増えていることが影響していると思われる。年度末の時点で体調不良による長期入院のため、ケアハウスでの生活は厳しく、2名の方が介護保険施設等への移行を待っておられ、また、食事制限などが設けられていても守れず体調が不安定な方もいる。ケアハウスは居室内での過ごし方は本人に委ねられているため、厳密な管理は難しいが、ご家族、ケアマネジャー、サービス事業者等と連携を取り、対応するようにしている。今後も心身機能の維持、向上のための関わりや支援を行い、日々の生活の様子から心身の状態を把握、確認し、異常を早期に発見、対応し、少しでも長く安定した生活を送っていただけるように支援していきたい。

2 入退居状況

: 人

月 別	入居者数	退居者数	退居理由	月末在籍者数	男 性	女 性
4月	0	1	経済的理由のため養護老人ホームに転居	13	5	8
5月	0	0		13	5	8
6月	0	0		13	5	8
7月	1	0		14	6	8
8月	0	0		14	6	8
9月	0	0		14	6	8
10月	0	0		14	6	8
11月	0	0		14	6	8
12月	0	0		14	6	8
1月	0	0		14	6	8
2月	0	0		14	6	8
3月	0	1	家族の近くのケアハウスに転居	13	6	7
合 計	1	2		13.7		

3 入居者状況

(1) 年齢別構成

年 齢	男 性	女 性	合 計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	0	0
6 5－6 9	0	0	0
7 0－7 4	0	0	0
7 5－7 9	1	0	1
8 0－8 4	4	1	5
8 5－8 9	1	4	5
9 0－9 4	0	2	2
9 5－9 9	0	0	0
1 0 0－	0	0	0
合 計	6	7	13
平均年齢	82.8	88.0	85.9
最高年齢	89	93	
最低年齢	78	83	

(2) 出身地別状況

出身地	男 性	女 性	合 計
与謝野町	4	4	8
伊根町	1	0	1
宮津市	0	1	1
その他	1	2	3
合 計	6	7	13

4 身体状況

(1) 要介護度別

平均 1.5

介護度	男 性	女 性	合 計	構成比
認定無し	0	0	0	0%
要支援1	1	2	3	23%
要支援2	1	1	2	15%
要介護Ⅰ	1	3	4	31%
要介護Ⅱ	1	1	2	15%
要介護Ⅲ	1	0	1	8%
要介護Ⅳ	0	0	0	0%
要介護Ⅴ	1	0	1	8%
合 計	6	7	13	100%

(2) 在宅サービス利用状況

介護サービス

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	8	61.00%	
訪問看護	4	30.00%	
短期入所	0		
通所介護	4	30.00%	
通所リハ	0		

介護予防サービス

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	2	15%	
訪問看護	0		
短期入所	0		
通所介護	0		
通所リハ	0		

5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	買物 外食 食事会
5月	買物 外食 食事会
6月	買物 外食 食事会
7月	買物 外食 食事会 後藤先生と生徒さん歌
8月	買物 外食
9月	買物 外食 大正琴の演奏
10月	買物 外食 食事会
11月	買物 外食 食事会 白帆会(南京玉すだれ) しらさぎ会(日本舞踊)
12月	買物 外食
1月	買物 外食 手品
2月	買物 外食 食事会
3月	買物 外食 食事会

(2) クラブ活動 延べ人数

月	体操クラブ (毎朝)	トランプ&手芸 (週2回)
4月	152名	44名
5月	173名	54名
6月	170名	48名
7月	186名	53名
8月	176名	46名
9月	180名	51名
10月	186名	54名
11月	180名	48名
12月	178名	49名
1月	168名	50名
2月	168名	43名
3月	159名	45名

6 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
5月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	2	1
6月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
8月	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	1	1
11月	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
12月	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
3月	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	1	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
事例検討 北部ブロック生活相談員部門	北部ブロック相談員研究会	1	1
北部ブロック生活相談員研究会 緊急時の対応他	相談員研究会	1	1
北部ブロック生活相談員研究会	北部ブロック生活相談研究会	1	1

平成28年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

1 総括

今年度の総利用者延べ人数は5,818人で、昨年度の5,980人を下回り、1日平均利用者数も16.3人から15.9人と減少した。これは年間を通し職員の体調不良、休職など職員体制によるものと、月途中での入院、老健入所などのため、キャンセルとなるが多かったことも影響している。しかし、できるだけご利用者、ご家族の要望に添った柔軟な受け入れを行い、最も多い月では11日間、月平均で7日間程度の緊急受け入れを行ってきた。今までなかったことでは、京都市在住の軽度認知症の方を行政との連携のもと、ほとんど情報のない中で緊急避難的に受け入れを行った。ご本人との面識のない中ではあったが、危険を回避し、安全に過ごしていただくため、夜勤見守り職員を増員しての受け入れを行った。

介護度別にみると要介護4、5の方が利用日数の45%を占めるなど重度化している。また、吸引が必要なご利用者も増えている。ご利用者が契約されている訪問看護師とも連携し、中重度者受入加算も算定しながら体調の不安定なご利用者の受け入れも積極的に行ってきた。医療的ケアの必要な方の受け入れに際しては、夜勤職員の負担も大きいですが、常に状態を把握に努め、安定した体調で過ごしていただけるように看護職員と介護職員の情報共有と連携のもとで対応している。

事故については、できるだけ事前に回避できるように心がけ、今年度は職員の介助動作中の重大な事故はなかった。しかし、自宅ではほとんど動かせない方が、自宅から離れて過ごされることで混乱され、ベッド臥床中に転落し、骨折されるという事故があった。ご家族と相談を重ね、身体拘束にはなるものご本人の生命、身体を守ることを優先とし、四点柵の対応をさせていただいている。3か月ごとのモニタリングを行い、安易な身体拘束の継続とならないようにしている。

今後も、ご利用者やご家族が、安心して在宅生活を継続していただけるために、安定した体制を確保しながら、職員の資質の向上を図っていきたい。

2 利用状況

(1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	475	0	0	0	475	15.8
5月	511	0	0	0	511	16.5
6月	475	0	0	2	477	15.9
7月	469	0	0	2	471	15.2
8月	517	0	0	0	517	16.7
9月	509	0	0	4	513	17.1
10月	485	0	10	0	495	16.0
11月	432	0	7	2	441	14.7
12月	476	0	0	0	476	15.4
1月	472	0	0	0	472	15.2
2月	458	0	0	10	468	16.7
3月	502	0	0	0	502	16.2
合計	5,781	0	17	20	5,818	15.9

(2) 実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り 平均利用 日数
4月	70	64	5	1	6.8
5月	73	69	3	1	7.0
6月	71	67	3	1	6.7
7月	66	61	4	1	7.1
8月	76	72	3	1	6.8
9月	76	73	2	1	6.8
10月	72	70	1	1	6.9
11月	67	65	1	1	6.6
12月	69	65	3	1	6.9
1月	69	66	2	1	6.8
2月	70	67	2	1	6.7
3月	72	68	3	1	7.0
平均	70.9	67.3	2.7	1.0	6.8

(3) 年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-59	0	1	1
60-64	0	0	0
65-69	0	2	2
70-74	2	2	4
75-79	1	3	4
80-84	2	5	7
85-89	4	13	17
90-94	0	18	18
95-99	2	12	14
100-	0	5	5
合計	11	61	72
平均年齢	84.5	89.0	88.3
最高年齢	96	102	
最低年齢	73	59	

(4) 出身地別状況 3月度

市町名	男性	女性	合計
与謝野町	11	61	72
伊根町	0	0	0
宮津市	0	0	0
その他	0	0	0
合計	11	61	72

(5) 要介護度別状況

介護・予防サービス 3月度 平均 3.1

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	3	3	4.2%
要介護Ⅰ	2	7	9	12.7%
要介護Ⅱ	2	15	17	23.9%
要介護Ⅲ	3	10	13	18.3%
要介護Ⅳ	2	9	11	15.5%
要介護Ⅴ	2	16	18	25.4%
合計	11	60	71	100.0%

障害支援区分 3月度 平均 6.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	1	1	100.0%
合計	0	1	1	100.0%

3 職員の研修参加

(1) 内部研修

月別	内 容	講 師	実人数	日 数
4月	平成28年度新人研修（オリエンテーション・総務・各部署の概要等）	施設長・各課長	1	1
	リハビリ勉強会（ケース検討）	神内PT	2	1
5月	平成28年度新人研修（感染症・コミュニケーション）	課長補佐・主任	1	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	8	1
	リハビリ勉強会（基本的介護技術Ⅱ）	神内PT	2	1
	リハビリ勉強会（特養ケース検討）	神内PT	1	1
6月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	7	1
	平成28年度新人研修（認知症・災害対応）	課長・係長	1	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
	平成28年度 普通救命講習①	宮津与謝消防組合	2	1
	リハビリ勉強会（ポジショニング方法 実技）	神内PT	2	1
	平成28年度新人研修⑤（安全管理・身体拘束）	主任	1	1
8月	平成28年度新人研修⑥（褥瘡対策・記録の書き方）	課長・主任	1	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	6	1
9月	平成28年度 普通救命講習②	宮津与謝消防組合	2	1
	平成28年度新人研修⑦（人事考課・医療行為）	施設長	1	1
	リハビリ勉強会（基本的介護技術Ⅲ）	神内PT	2	1
	リハビリ勉強会（SSケース検討）	神内PT	7	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	5	1
10月	ストレスチェック説明会	武田里栄子氏	3	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	5	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」②	神内PT、ケアネット他	4	1
11月	平成28年度ユニットIN北京都 全体研修会	ユニットイン北京都	4	1
	排泄勉強会	リブドウ日野氏	4	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
12月	特養新人研修（食事・排泄・入浴）	主任	1	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
	リハビリ勉強会（負担の少ない移乗方法について）	神内PT	4	1
1月	特養新人研修（認知症・ケアプラン）	課長・係長	1	1
2月	リハビリ勉強会（シーティングの理解）	神内PT	1	1
	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	4	1
3月	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会②	リスク委員会	2	1
	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	5	1
	リハビリ勉強会（肩こり・腰痛を防ぐストレッチ体操について）	神内PT	3	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
高齢者・障害者施設職員等感染症予防対策基礎研修会	丹後保健所	1	1
介護士交流会	与謝郡福祉会	1	1
源泉所得税の年末調整説明会	宮津税務署・宮津納税協会	1	1

平成28年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

1 総括

平成28年度の当初は、異動による職員の入れ替え、新人職員、勤労体験学習の受け入れ等が重なり、職員の育成に力を入れる比重が大きくなり、職員一人ひとりが安定して業務を行えるようになるまでは、ご利用者の新規相談や追加の利用希望をお受けできない状況があった。加えて、加齢による状態変化に伴い、デイサービス利用を中止されるご利用者がおられたことや、ご病気により、入院、あるいは老人保健施設に入所されるご利用者なども多数おられた。これらのことが影響し、昨年、1日あたりの平均利用人数が22.1人だったのに対し、今年度は21.1人となり、1.0人の減少となっている。また、昨年度と比較して最も特徴的な点は、予防給付の登録者の多くが介護給付に移行されたため、昨年度21人に対し、今年度は14人と大幅に減少した。さらに介護度別に見ても、重度者の割合が増えてきている。年度途中より、看護師が2名体制となり、重度者に対応できる状況となったため、1月から中重度者ケア体制加算が算定を開始した。地域の現状から、今後大幅なご利用者の増加を見込むことは難しいが、在宅生活を希望されるご利用者が、住み慣れた地域で最期まで暮らせるように、今後も柔軟な対応とサービスの質の向上を目指していきたい。

2 主な取り組み

前年度に引き続き、ご利用者個々のできることをデイサービスの中で実現していただけるような創作活動の提供を行うと共に、ご利用者個々のデイサービス利用の目的に沿った支援の提供や様々なニーズにもできるだけ対応できるよう努め、振り替え利用や追加利用、延長利用の受け入れも積極的に行ってきた。その他にも定番となっている毎月の買い物レクリエーションや、季節行事、地域行事への参加についても職員体制が不安定な中でも内容を吟味しながら取り組むことができた。

職員個々のスキルアップという面においては、デイ会議の中でグループワークを行ない、テーマに沿って全職員が考え、発言する機会を設けたり、年間3回実施したりハビリ勉強会では、学んだことを実践に取り入れることができた。

3 サービス実績の状況

	開所 日数	実人数	介護	予防	障害	延利用 人数	介護	予防	障害	1日 平均	介護	予防	障害
4月	26	86	66	20	0	587	457	130	0	22.6	17.6	5.0	0
5月	26	83	63	20	0	595	465	130	0	22.9	17.9	5.0	0
6月	26	83	63	20	0	576	446	130	0	22.2	17.2	5.0	0
7月	26	81	60	21	0	565	439	126	0	21.7	16.9	4.8	0
8月	27	79	60	19	0	576	453	123	0	21.3	16.8	4.6	0
9月	26	78	60	18	0	539	429	110	0	20.7	16.5	4.2	0
10月	26	78	63	15	0	527	438	89	0	20.3	16.8	3.4	0
11月	26	76	60	16	0	537	435	102	0	20.7	16.7	3.9	0
12月	27	78	63	15	0	554	459	95	0	20.5	17.0	3.5	0
1月	24	74	59	15	0	456	376	80	0	19.0	15.7	3.3	0
2月	23	76	60	16	0	472	386	86	0	20.5	16.8	3.7	0
3月	27	75	61	14	0	544	456	88	0	20.1	16.9	3.3	0
合計	310	947	738	209	0	6,528	5,239	1,289	0	21.1	16.9	4.2	0

4 サービス別利用実績

	機能訓練	時間延長	介護	予防	障害
4月	0	1	1	0	0
5月	0	1	1	0	0
6月	0	1	1	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0
9月	0	1	1	0	0
10月	0	1	1	0	0
11月	0	2	2	0	0
12月	0	5	4	1	0
1月	0	1	1	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	0	13	12	1	0

5 介護度別利用状況

(1) 介護度別 平均 2.1

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	2	3	5	6.7%
要支援2	1	8	9	12.0%
要介護I	7	17	24	32.0%
要介護II	2	11	13	17.3%
要介護III	1	9	10	13.3%
要介護IV	2	4	6	8.0%
要介護V	1	7	8	10.7%
合計	16	59	75	100.0%

(2) 障害支援区分別 平均 —

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	—
区分2	0	0	0	—
区分3	0	0	0	—
区分4	0	0	0	—
区分5	0	0	0	—
区分6	0	0	0	—
合計	0	0	0	—

6 年齢構成別利用状況

(1) 全体（登録者）

	男 性	女 性	合 計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	1	1
6 5－6 9	0	0	0
7 0－7 4	2	1	3
7 5－7 9	4	1	5
8 0－8 4	3	11	14
8 5－8 9	3	18	21
9 0－9 4	3	16	19
9 5－9 9	1	9	10
1 0 0－	0	2	2
合 計	16	59	75
平均年齢	83.2	88.7	86.0
最高年齢	96	102	
最低年齢	72	64	

(2) 介護給付対象者（登録者）

	男 性	女 性	合 計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	1	1
6 5－6 9	0	0	0
7 0－7 4	2	1	3
7 5－7 9	3	1	4
8 0－8 4	3	10	13
8 5－8 9	2	13	15
9 0－9 4	2	14	16
9 5－9 9	1	6	7
1 0 0－	0	2	2
合 計	13	48	61
平均年齢	82.8	88.3	86.0
最高年齢	96	102	
最低年齢	72	64	

(3) 予防給付対象者（登録者）

	男 性	女 性	合 計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	0	0
6 5－6 9	0	0	0
7 0－7 4	0	0	0
7 5－7 9	1	0	1
8 0－8 4	0	1	1
8 5－8 9	1	5	6
9 0－9 4	1	2	3
9 5－9 9	0	3	3
1 0 0－	0	0	0
合 計	3	11	14
平均年齢	85.0	90.0	87.5
最高年齢	94	99	
最低年齢	76	83	

(4) 障害者総合支援法対象者（登録者）

	男 性	女 性	合 計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	0	0
6 5－6 9	0	0	0
7 0－7 4	0	0	0
7 5－7 9	0	0	0
8 0－8 4	0	0	0
8 5－8 9	0	0	0
9 0－9 4	0	0	0
9 5－9 9	0	0	0
1 0 0－	0	0	0
合 計	0	0	0
平均年齢	－	－	－
最高年齢	－	－	
最低年齢	－	－	

7 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
	なし		

8 月次行事

月	行 事 名
4月	雲岩つつじ祭り、花見ドライブ、買物レク
5月	買物レク
6月	買物レク
7月	七夕流しそうめん、あわしま祭り、買物レク
8月	夏祭り、林 [°] -トイ輪やとの合同夏祭り、買物レク
9月	敬老週間、買物レク
10月	運動会、買物レク
11月	文化祭(岩屋地区、ウイル、虹ヶ丘)、遠足(由良みかん狩り)、外食レク、買物レク
12月	クリスマス会、食レク(うどん鍋)、買物レク
1月	初詣、買物レク
2月	ロング巻き寿司、食レク(うどん鍋)、買物レク
3月	ちらし寿司、買物レク

9 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日数
4月	平成28年度新人研修(オリエンテーション・総務・各部署の概要等)	施設長・各課長	1	1
5月	平成28年度新人研修(感染症・コミュニケーション)	課長補佐・主任	2	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	9	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅱ)	神内PT	2	1
6月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	5	1
	平成28年度新人研修(認知症・災害対応)	課長・係長	1	1
	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	2	1
	平成28年度 普通救命講習①	宮津与謝消防組合	5	1
	リハビリ勉強会(ポジショニング方法 実技)	神内PT	3	1
	リハビリ勉強会(機能訓練指導 DS)	神内PT	12	1
	平成28年度新人研修⑤(安全管理・身体拘束)	主任	2	1
8月	平成28年度新人研修⑥(褥瘡対策・記録の書き方)	課長・主任	4	1

	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	10	1
9月	平成28年度 普通救命講習②	宮津与謝消防組合	6	1
	平成28年度新人研修⑦（人事考課・医療行為）	施設長	4	1
	リハビリ勉強会（基本的介護技術Ⅲ）	神内PT	6	1
	リハビリ勉強会（SSケース検討）	神内PT	1	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	7	1
10月	ストレスチェック説明会	武田里栄子氏	12	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	7	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」②	神内PT、ケアネット他	7	1
11月	平成28年度ユニットIN北京都 全体研修会	ユニットイン北京都	3	1
	排泄勉強会	リブドゥ日野氏	2	1
	リハビリ勉強会（DS移乗について）	神内PT	10	1
	リハビリ勉強会（摂食・嚥下について）	神内PT	6	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
12月	平成28年度認知症TVセミナー第2回	丹後保健所・北部MC	3	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	5	1
	リハビリ勉強会（負担の少ない移乗方法について）	神内PT	6	1
2月	リハビリ勉強会（シーティングの理解）	神内PT	5	1
	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	5	1
3月	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会②	リスク委員会	8	1
	リハビリ勉強会（肩こり・腰痛を防ぐストレッチ体操について）	神内PT	6	1
	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	9	1
	リハビリ勉強会（DSポジショニングについて）	神内PT	11	1
	平成29年新入職員研修（法人）	与謝郡福祉会	2	1

（2）派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
指導看護師フォローアップ研修（北部）	京都府看護協会	1	1
ユニットinデイサービス部門（デイサービスbookの作成など）	ユニットin北京都	1	1
ユニットin北京都デイサービス部門 冊子の作成 情報交換	ユニットin北京都	1	1
社会福祉施設における労働災害防止説明会	丹後労働基準監督署	1	1
ユニットin北京都 デイサービス部門	ユニットin北京都	1	1
ユニットin北京都デイサービス部門	ユニットin北京都	1	1
デイサービス研修会 レクリエーションとリハビリ研修	府老協	2	1
ユニットin北京都 デイサービス部門 デイサービスbook確認作業	ユニットin北京都	1	1
平成28年度 社会福祉法人会計実務者決算講座	全国社会福祉協議会	1	1
健康づくりに関する調査報告会	丹後保健所	1	1

平成28年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

1 総括

今年度、居宅介護支援件数は1,309件と昨年度に比べ91件の増加となり、年度末担当数は113件/月となっている。件数増については、他部署への応援も兼ねながらではあったが、介護支援専門員が5名体制で落ち着き、新規の受け入れ等も積極的に行ったことによるものである。一方で、昨年に引き続き、重度の方やターミナル期の方の相談が多く、短期間の関わりで終結するケース、特養へ入所されるケースも多く、1人当たりの件数の伸びにはあまり繋がらなかった。

介護家族への支援目的で行っている家族交流会は定着しつつあり、今年度は3回開催することができ、参加家族も増えて、延べ16名が参加された。職員による介護教室の実施や、社会資源の情報提供をさせていただき、その後はご家族が主体となって、日々の介護負担や工夫などについて話をされ、交流の良い機会となった。参加されることで今後の在宅介護のモチベーションアップにつながっているという声も聞かれ、今後も定期開催を予定している。

今年度は主任介護支援専門員の資格取得者が1名あり、特定事業所加算を算定している事業所に義務付けられた介護支援専門員実務研修実習者1名と社会福祉士相談援助実習の2名、計3名の実習の受け入れを行った。また、施設内の介護支援専門員受験対策講座の講師を担い、後進の育成とともに部署内各職員自身のスキルアップ、部署内の業務の見直しにもつながったといえる。

来年度は、体制の見直しに伴い、介護支援専門員4名体制になるが、「虹ヶ丘居宅をどうしても」と希望されるご利用者やご家族もおられ、「選んでいただける事業所」として今後も新規の受け入れを積極的に行なっていく方針である。丹後地域でも、病院と在宅サービスが連携し、本人・家族が希望するのであれば在宅での看取りを支援する体制が進んできているため、“住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる”ように、居宅介護支援事業所として今後も看取りのケースの受け入れも積極的に、かつ、迅速に行い、地域のニーズに貢献していきたい。

また、平成29年度の介護予防・日常生活支援総合事業の導入と、平成30年度の診療報酬・介護報酬の同時改定に向けて、ご利用者、及び、ご家族に対し、適宜・適切に情報提供し、円滑にサービス利用ができるように支援していきたい。

(1) 件数の推移

	居宅介護支援								
	件数	初回加算	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	小規模多機能型連携加算	運営基準減算Ⅰ	運営基準減算Ⅱ	特定事業所加算Ⅱ
4月	106	6	0	0	3	0	0	0	106
5月	106	1	4	0	0	0	0	0	106
6月	106	4	1	0	2	1	0	0	106
7月	105	3	0	0	1	0	0	0	105
8月	107	5	1	0	0	0	0	0	107
9月	107	3	2	0	1	0	0	0	107
10月	111	3	2	0	3	0	0	0	111
11月	110	2	0	0	0	0	0	0	110
12月	114	5	4	0	1	0	0	0	114
1月	114	3	7	0	3	0	0	0	114
2月	110	3	2	1	0	1	0	0	110
3月	113	3	2	0	2	2	0	0	113
合計	1,309	41	25	1	16	4	0	0	1,309

	介護予防支援		
	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	0	0	0

(2) 居宅介護内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数
介護保険認定関係	87	45
医療健康相談	1,825	137
デイサービス利用	1,181	111
ホームヘルプ利用	539	70
訪問入浴	64	16
ショートステイ利用	641	80
訪問看護利用	326	50
施設入所関係	113	43
住宅改修・福祉用具	719	98
介護保険以外のサービス	12	10
認知症に関する相談	143	34
家族介護に係る相談	102	40
他サービス利用	55	20
その他	1,790	349
合計	7,597	1,103

区分	電話	来所	訪問	文書	その他	合計
本人	531	25	1,865	44	186	2,651
家族	839	59	1,534	11	130	2,573
関係機関	810	44	942	107	247	2,150
相談協力員	0	0	0	0	1	1
その他	8	1	15	0	9	33
合計	2,188	129	4,356	162	573	7,408

3 在宅介護支援センター事業内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数
介護保険認定関係	2	2
医療健康相談	44	17
デイサービス利用	13	8
ホームヘルプ利用	6	5
訪問入浴	3	3
ショートステイ利用	7	6
訪問看護利用	10	3
施設入所関係	8	4
住宅改修・福祉用具	18	14
介護保険以外のサービス	0	0
認知症に関する相談	35	3
家族介護に係る相談	5	1
他サービス利用	2	2
虐待に関する相談	0	0
権利擁護に係る相談	0	0
その他	47	21
合計	200	89

区分	電話	来所	訪問	文書	その他	合計
本人	26	0	41	0	9	76
家族	37	4	35	0	16	92
関係機関	29	2	19	0	12	62
相談協力員	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	1
合計	92	6	96	0	37	231

4 諸会議

会議名	主催者	延べ日数
地域ケア会議	与謝野町包括支援センター	3
地域ケア会議代表者会議	与謝野町包括支援センター	1
支援センター会議	虹ヶ丘在宅介護支援センター	52

5 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日数
5月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	3	1
6月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	2	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
	平成28年度 普通救命講習①	宮津与謝消防組合	1	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	1	1
9月	平成28年度 普通救命講習②	宮津与謝消防組合	1	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	4	1
10月	ストレスチェック説明会	武田里栄子氏	2	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	1	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」②	神内PT、ケアネット他	3	1
11月	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	2	1
12月	平成28年度認知症TVセミナー第2回	丹後保健所・北部MC	3	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	5	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
与謝野町地域ケア会議	与謝野町役場福祉課	5	1
平成28年度主任介護支援専門員研修	京都府	1	3
平成28年度主任介護支援専門員研修	京都府	1	1
平成28年度主任介護支援専門員研修	京都府	1	1
丹後中丹ブロック合同開催研修会	京都府介護支援専門員会	1	1
ソーシャルワーカーデイ公開講演会	京都社会福祉士会	1	1
オレンジロードつなげ隊フォローアップ研修	丹後地域包括ケア推進ネット	1	1
事例検討における主任介護支援専門員の役割	ハートピア京都	1	1
平成28年度認知症セミナー	北丹医師会・COLTEM・丹後保健所	1	1
平成28年度主任介護支援専門員研修	京都府	1	3
認知症対応力向上研修	丹後保健所 COLTEM	1	1
在宅サービス関係者と北部医療センター職員との連携会議	京都地域包括ケア推進機構・丹後保健所	1	1
平成28年度主任介護支援専門員研修	京都府	1	4
与謝野町地域ケア会議	与謝野町福祉課	5	1
平成28年度福祉避難サポートリーダー養成研修	丹後保健所	1	1
平成28年高齢者・障害者入所施設感染予防対策リーダー研修	京都府丹後保健所	2	1
平成28年高齢者・障害者入所施設感染予防対策リーダー研修	京都府丹後保健所	1	1
難病患者支援従事者研修会	丹後保健所	1	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町	4	1
介護支援専門員実務研修実習受入についての説明会	京都府	1	1
「在宅看取り」支援検討会	地域包括ケア推進ネット	2	1

平成28年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

1 総括

今年度は、昨年度に比べて訪問延べ件数は減っているものの、訪問延べ日数は100日増えている。1ヶ月あたりの実人数は35名前後であった。常勤1名と登録ヘルパー4名という少ない職員体制の中で、利用者の体調変化や思いに添いながら、回数を増やしたり、曜日を変更したり、また、緊急で1回のみ利用等、できる限りの対応はしてきた。しかし、希望される時間が9時頃、お昼前、14時頃と、希望が重なる傾向があり、なかなか新規の受け入れが難しいこともあった。100歳を迎えておられる利用者も4名おられ、日々の体調に気を配りながら住み慣れた家での暮らしを家族と共に支えてきた。

独居の癌末期の看取りケースでは、他の訪問介護事業所と連携しながら訪問援助を行った。援助方法や関わり方、記録の仕方等、他事業所と情報交換する機会にもなり、当事業所の援助について見直す良い機会となった。最期は利用者の『望む生活』というところで家政婦を利用されることになり、介護保険では支援しきれない部分を介護保険外サービスで対応してもらうことで、穏やかな在宅生活をされている利用者を目の当たりにし、在宅生活を支えるための介護保険外サービスの必要性を感じた。

職員体制上、外部研修はなかなか参加できておらず、知識や技術の習得という面では弱かったと思われるが、町内のヘルパー事業所が参加するヘルパー交流会では、『認知症』や『聴こえ』についての勉強会に参加し、学習する機会を得た。現状の知識や技術に満足することなく、『学ぶ』姿勢を大切に、一人ひとりがレベルアップできるように今後も積極的に研修に取り組んでいきたい。

障害者総合支援法の利用者は3名であった。1名はアパート型ホームに入居され、利用は終結となった。2名は体調やサービスに変化なく、安定して利用していただいている。変化が少ない分、担当の支援相談員との情報交換が少なくなっていると感じるため、こちらからも小まめに情報発信し、連携を促進していきたい。介護予防・日常生活支援総合事業が始まるなか、在宅生活を支える一つの柱としての役割を果たせるように、少ない職員体制ではあるが、職員同士のコミュニケーションを大事にし、ご利用者、ご家族の思いに添った支援ができるよう取り組んでいきたい。

2 利用者状況

(1) 要介護度 3月度 平均 2.3

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	0	3	3	8.3%
要介護Ⅰ	4	7	11	30.6%
要介護Ⅱ	7	5	12	33.3%
要介護Ⅲ	1	2	3	8.3%
要介護Ⅳ	0	1	1	2.8%
要介護Ⅴ	0	6	6	16.7%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	12	24	36	100.0%

(2) 障害支援区分別 3月度 平均 3

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	2	0	2	100.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	2	0	2	100.0%

(3) 年齢別 3月度

	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－64	1	0	1
65－69	0	0	0
70－74	0	3	3
75－79	3	2	5
80－84	4	3	7
85－89	3	6	9
90－94	1	3	4
95－99	0	3	3
100－	0	4	4
合計	12	24	36
平均年齢	81.0	88.0	86.0
最高年齢	91	104	
最低年齢	60	72	

(4) 介護給付

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	142	153	170	158	141	126	123	149	150	160	159	156	1787
身体生活	10	10	13	0	4	5	10	18	5	6	4	6	91
生活援助	77	76	100	103	111	128	127	125	117	111	100	110	1285
計	229	239	283	261	256	259	260	292	272	277	263	272	3163
訪問時間	191:00	198:00	240:30	215:55	209:25	217:55	220:50	247:05	228:15	224:20	207:50	242:35	2643:40
訪問日数	194	204	269	239	234	247	252	292	270	264	248	207	2920
訪問回数	229	239	283	261	256	259	260	292	272	277	263	272	3163
初回訪問加算	0	1	2	1	3	1	5	2	1	1	1	1	19
緊急時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《利用実人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
身体介護	18	19	19	19	16	15	21	19	21	21	20	19	227	26
生活援助	12	12	14	13	16	17	20	19	18	17	15	17	190	20
身体生活	3	2	4	2	1	2	3	5	2	2	1	2	29	6
計	33	33	37	34	33	34	44	43	41	40	36	38	446	46
実利用人数	27	27	29	29	27	28	32	33	33	32	31	33	0	46

(5) 予防給付

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
延べ訪問時間	50:00	52:30	43:30	40:30	27:00	23:30	25:30	26:30	23:30	25:30	27:30	25:00	390:30	
延べ件数	51	54	44	42	29	24	26	28	23	27	28	26	402	
利用実人数	7	7	6	6	5	4	4	4	4	4	4	3		10
初回加算	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(6) 障害者総合支援法

《利用延件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助中心型	12	14	13	12	14	13	13	13	13	13	10	9	149
身体介護中心型	35	31	40	31	35	32	34	34	31	28	33	35	399
合計訪問時間	23:30	22:30	26:30	21:30	24:30	22:30	23:30	23:30	20:00	20:30	21:30	22:00	272:00
合計件数	47	45	53	43	49	45	47	47	44	41	43	44	548

《利用実人数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間実利用者数
生活援助中心型	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23	2
身体介護中心型	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
一人派遣	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35	3
合計人数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35	3

3 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日数
4月	ヘルパー研修『技術』洗髪器を使用しての洗髪	ヘルパー	5	1
5月	ヘルパー研修『調理』牛蒡を使つての調理	ヘルパー	5	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	2	1
6月	ヘルパー研修『緊急時』こんな場面に遭遇したらどうする？	ヘルパー	5	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	3	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	2	1
8月	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	1	1
9月	ヘルパー研修『技術』生活援助としての掃除のコツ	ヘルパー	5	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	4	1
10月	ストレスチェック説明会	武田里栄子氏	1	1

	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	4	1
	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」②	神内PT、ケアネット他	1	1
11月	ヘルパー研修『技術』高次脳機能障害について	ヘルパー	5	1
	ヘルパー研修『緊急時』汚染時の処理方法の確認	ヘルパー	5	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
12月	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	2	1
	リハビリ勉強会（負担の少ない移乗方法について）	神内PT	2	1
	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	1	1
2月	ヘルパー研修『技術』車両事故の対応について	ヘルパー	5	1
3月	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	3	1
	ヘルパー研修『調理』缶を使った調理	ヘルパー	6	1
	平成29年新入職員研修（法人）	与謝郡福祉会	1	3

（2）派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日数
与謝野町地域ケア会議	与謝野町福祉課	1	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町福祉課	1	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町福祉課	1	1

1 総括

平成28年度の登録者数については、新規登録が8名(退院された方を含む)、登録中止数が9名(入院・老健入所者数含む)あった。登録数の年間平均は21.2名/月と、僅かな上昇にとどまった。

特色としては、長年のご利用の末に亡くなられた方が3名あり、いずれのご利用者も看取りを行った。神宮寺では初めて施設内での看取りも行った。住み慣れた家や地域の中で最期を迎えられ、ご家族や地域の方々との繋がりの強さを改めて感じる事ができ、長年、小規模多機能型サービスに従事してきたスタッフにとっても、3例の看取りを行えたことは非常に意義深い経験だったと感じている。

新規登録者については、66歳から80代前半と比較的若い方が多く、また、一人暮らし世帯の利用割合も上がっている。平均介護度は1.7と、前年度と同じだが、要介護5のご利用者が年明けから2名亡くなられたため、次年度は下がると思われる。

以前は、認知症が中重度に進行されているため、ご家族だけでは対応しづらいケースが多かったが、現在は、登録者の半数は要介護1であり、一人暮らしの方や日中独居になる方も多い。家族に負担がかからないようにできるだけ自力で生活を送ろうとはしながらも、自力では行えない行為に限定して援助して欲しいというケースが多くなってきた。処置のための短期利用、入浴のみの利用、徘徊される方の様子伺い、一日複数回の生活援助等、訪問介護や通所介護の従来型サービスでは、融通がつきにくいようなニーズも増えている。通いの年間平均が前年度よりやや減少したのに対し、訪問の年間平均が大幅に増えている点からも、個々のニーズに合わせて援助内容をカスタマイズしやすい強みが、ここにきてようやく浸透してきた影響によるものではないかと思われる。

【地域支援事業】

“いしかわサロン”については、今年度も一度も休むことなく実施することができた。加えて、11月より、午後のみ“ミニいしかわサロン”も新たに開始し、6つの各地区公民館で、3ヶ月に1回の割合でサロンを行うことができるようになった。回数の増加は、参加者からのご希望によるもので、少しずつ定着してきている。また、“あわしまサロン”も月に2～3回のペースで実施しており、外部より、絵てがみの先生を講師に招いたり、座位のまま踊れる振り付けを考案したりと、今までとは異なった活動もできた。また、夏休みには工作教室を実施し、サロン参加者が小学生に裁縫を教えられるといった新たな試みも行った。

訪問活動については、毎月、いしかわサロンを実施する地区の民生委員と一緒に訪問させていただいた。他にも、民生委員からの相談を受けたり、個別相談から訪問に向向くこともあった。引き続き、訪問型の支援活動にも力を入れていきたいと考えている。

また、前年度はできなかった地域向け勉強会を、11月に実施することができた。来年度も介護にまつわる勉強会を開催し、地域の啓発活動を積極的に行っていきたい。

2 利用状況

(1) 月次状況

	登録者数	平均介護度	通所延数	訪問延数	宿泊延数	一人当りサービス提供回数(週)
4月	21	1.8	293	321	16	6.8
5月	20	1.9	262	305	11	5.8
6月	19	1.9	249	315	6	6.6
7月	21	1.8	275	353	5	7.0
8月	20	1.8	291	342	4	7.2
9月	21	1.8	300	359	6	7.4
10月	21	1.7	282	385	7	7.5
11月	21	1.7	276	383	12	7.4
12月	23	1.7	299	420	11	7.6
1月	22	1.8	251	383	26	6.3
2月	22	1.5	239	309	16	6.8
3月	23	1.5	264	255	18	5.6
年間平均	21.2	1.7	273.4	344.2	11.5	6.8

(2) 登録状況

	新規登録者数	登録中止者数	月末登録者数	利用中止理由
4月	0	1	20	死亡
5月	0	1	19	入院のち老健入所
6月	0	0	19	
7月	2	1	20	特養入所
8月	0	0	20	
9月	1	0	21	
10月	0	1	21	入院のち退院
11月	0	0	21	
12月	2	1	22	入院のち退院
1月	0	2	20	死亡・サービス終了
2月	2	0	22	
3月	1	2	21	死亡・在宅サービスへ移行
合計	8	9		

(3) 年齢別状況 3 月度

	男性	女性	合計
－ 5 9	0	0	0
6 0－6 4	0	0	0
6 5－6 9	1	0	1
7 0－7 4	1	0	1
7 5－7 9	0	2	2
8 0－8 4	0	3	3
8 5－8 9	1	4	5
9 0－9 4	0	6	6
9 5－9 9	0	4	4
1 0 0－	0	1	1
合計	3	20	23
平均年齢	75.3	89.2	87.3

(4) 介護度別状況 3 月度

	男性	女性	合計	構成比
要支援 1	0	1	1	4.3%
要支援 2	0	2	2	8.7%
要介護 I	1	10	11	47.8%
要介護 II	0	3	3	13.0%
要介護 III	1	3	4	17.4%
要介護 IV	1	0	1	4.3%
要介護 V	0	1	1	4.3%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	3	20	23	100.0%

3 月次行事

月	行 事 名
4月	お花見・いちご狩り・加悦谷祭・壁画作成
5月	ドライブ・遠足(文殊)・壁画作成
6月	ドライブ・壁画作成・あわしま祭り看板作製
7月	あわしま祭り・ドライブ・外食(スシロー)
8月	ドライブ・外食(スシロー)・夏休み工作教室
9月	敬老祝い・運動会見学・壁画作成
10月	遠足(丹後王国)・ドライブ・壁画作成
11月	みかん狩り(由良)・文化祭出展・石川小3年生交流会
12月	クリスマス会・餅つき・壁画作り
1月	新年祝賀・壁画作り
2月	節分(巻き寿司作り)・チョコレートフォンデュ
3月	ひな祭り・ドライブ・壁画作り

4 職員の研修参加

(1) 内部研修

月	内 容	講 師	実人数	日 数
4月	平成28年度新人研修(オリエンテーション・総務・各部署の概要等)	施設長・各課長	1	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅰ)	神内PT	1	1
5月	平成28年度新人研修(感染症・コミュニケーション)	課長補佐・主任	1	1
	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	4	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅱ)	神内PT	1	1
6月	コンプライアンス&ビジネスマナー研修	施設長・足立氏	7	1
	平成28年度新人研修(認知症・災害対応)	課長・係長	2	1
	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	3	1
	リハビリ勉強会(ポジショニング方法 講義)	神内PT	2	1
7月	平成28年度第1回感染症勉強会	感染症委員会	1	1
	平成28年度 普通救命講習①	宮津与謝消防組合	2	1
	リハビリ勉強会(ポジショニング方法 実技)	神内PT	2	1
	平成28年度新人研修⑤(安全管理・身体拘束)	主任	2	1
8月	平成28年度新人研修⑥(褥瘡対策・記録の書き方)	課長・主任	2	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	6	1
9月	平成28年度新人研修⑦(人事考課・医療行為)	施設長	2	1
	リハビリ勉強会(基本的介護技術Ⅲ)	神内PT	2	1
	平成28年度第1回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	5	1

10月	褥瘡予防委員会全体研修「福祉用具の正しい使い方」①	神内PT、ケアネット他	8	1
11月	平成28年度ユニットIN北京都 全体研修会	ユニットイン北京都	2	1
	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
12月	平成28年度第2回感染症勉強会	感染症委員会	4	1
	リハビリ勉強会（負担の少ない移乗方法について）	神内PT	3	1
2月	リハビリ勉強会（シーティングの理解）	神内PT	1	1
	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会	リスク委員会	6	1
3月	平成28年度第2回リスクマネジメント勉強会②	リスク委員会	2	1
	認知症勉強会	キャラバンメイト委員会	7	1

(2) 派遣研修

研 修 名	主 催	実人数	日 数
小規模多機能居宅介護事業所連絡会	NPO法人 丹後福祉応援団	2	1
福祉職のためのマナー研修	京都府社会福祉協議会	1	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町役場福祉課	2	1
ユニットin北京都小規模多機能部門	ユニットin北京都	1	1
小規模連絡会議	おきなぎの家	2	1
介護士交流会 「夏の脱水予防」について	丹後福祉応援団	1	1
ユニットin北京都小多機部門	ユニットin北京都	1	1
在宅サービス関係者と北部医療センター職員との連携会議	京都地域包括ケア推進機構・丹後保健所	1	1
与謝郡小規模多機能連絡会議	みやづの家	2	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町福祉課	2	1
町内ワークショップ	与謝野町福祉課	1	1
ユニットin北京都小多機部門	ユニットin北京都	1	1
介護士交流会	与謝郡福祉会	1	1
認知症初期集中支援チーム研修	与謝野町福祉課	1	1
与謝野町地域ケア会議	与謝野町	2	1
北部・中部研修会 「これだけは知ってほしい！排泄ケア」	一般社団法人京都府介護福祉士会	1	1
身体拘束ゼロ推進研究委員会基礎研修会	府老協 調査研究部会	1	1
小規模多機能委員会研修	府老協	1	1
キャラバンメイトコアメンバー会議	与謝野町福祉課	1	1
与謝郡小規模多機能型居宅介護事業所介護士交流会	与謝野町	1	1
認知症カフェ・オレンジロードつなげ隊合同研修会	丹後保健所	1	1
認知症初期集中支援チーム員会議	与謝野町福祉課	1	1
ユニットin北京都小多機部門	ユニットin北京都	1	1